

## 編集後記

『研究論集』第32巻は、総合研究センター内の編集委員会が編集を担当して4号めになる。年度ごとに編集内規・投稿基準を見直して整備し、投稿原稿の種類も詳細に区分した。査読の制度も効果をあげるものと期待される。本号には、研究ノートが一編、総合論文紹介が一編、事業報告が二編、特別寄稿・彙報などが載る。しかし、総説・原著論文にあたる論考を掲載することがかなわなかった。『研究論集』の充実のため、教職員の方々にさらなる積極的なご協力をお願いしたい。

上記の希望は自省でもある。本号後記を担当する鈴木は、人文学部に所属し、とくに日本古典文学を教育研究の対象にしている。文科省の通達に言及するまでもなく、近時当該の人文社会系分野に対する世の風当たりは厳しく、国文学の名を冠するかつての有力雑誌の相継ぐ廃刊、各大学国文学科の改編による統廃合など、斜陽ぶりをあげたらきりがない。せめて大学紀要において活性化させたいと庶幾するところである。 (鈴木)

### 論集編集委員会

松 本 直祐樹 (音楽学部)  
鈴 木 徳 男 (人文学部)  
岩 口 撰 子 (人間発達学部)  
千 葉 真 也 (共通教育センター)  
太 田 美 穂 (総合研究センター長)

---

平成28年3月10日 印刷 第32巻 (通巻第67巻)  
平成28年3月18日 発行

編 集 相愛大学研究論集編集委員会

発 行 相愛大学総合研究センター  
大阪市住之江区南港中4丁目4番1  
電話 (06) 6612-5904番

印 刷 協和印刷株式会社  
京都市右京区西院清水町13  
電話 (075) 312-4010番

---